

平成19年度実施事業 事業評価シート

事業名:	生涯学習講座開催事業(旧公民館講座開設事業)	5-9
・運営の方法(1:直営、2:民間委託、3:補助、4:その他)	複数回答可	1
・事務の分類(1:自治事務、2:法定受託事務)		1

担当部課	生涯学習部公民館	直通電話	74-2249
担当部長	飯尾 徹	担当課長	清水 雅季
		担当者	谷川 裕之

1 事業のアウトライン			
(1)事業概要及び交付金額等の積算根拠	生涯学習講座の開催 (従前、別々に開催してきた「生涯学習講座(社会教育課)」と「公民館講座(公民館)」を、平成18年度から「生涯学習講座」に一本化し開催)		
(2)事業開始年度	不明	(3)事業終了年度	未定
(4)総合計画での事業体系	テーマ等	5 心豊かに学びいきいきと活動するまち	
	施策項目(大)	(1)生涯学習の推進	
	施策項目(小)	学習機会の整備・充実	
	施策コード	50102	

2 事業の内容	
(1)事業の目的 何のために	だれもが自由に学習機会を選択しながら、生涯にわたって学び続けられる環境を整え、自己実現を図りながら充実した人生を送ることができるまちをめざす。
(2)目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	できるだけ多くの市民に、「生涯学習講座」に参加してもらう。
(3)事業の方法 どんな手段を講じるのか	・市民のニーズや地域課題、年齢層別課題等に対応する講座を企画実施 ・「生涯学習講座企画ボランティア」(ボランティアスタッフ)とともに講座を企画実施
(4)19年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	「学びのスタンプ制度」による講座情報の発信
(5)事業の背景・社会状況・他の類似事業など	多様化する市民ニーズへの対応を背景に、市民活動の成熟とともに、「与え、受取る」といった従来型の社会教育の場の提供ではなく、自主的、自発的な市民参加型の講座開設が望まれる社会状況にあり、近年石狩市では、民間、団体の講座が数多く開催されている。
(6)事業の立案や実施における協働の視点	「生涯学習講座企画ボランティア」や「市民企画講座」などで市民と協働で講座の企画、運営を行っている。

3 事業に投入した行政資源				
区分	H17	H18	H19	H20予算
(1)直接事業費(千円)	590	757	862	872
(2)その他の間接経費(千円)	0	0	0	0
(3)従事正職員の人件費(千円)	19,854	27,341	29,604	
総事業費((1)~(3)の合計:千円)	20,444	28,098	30,466	
事務に従事した正職員延べ人数	2.30	3.30	3.30	

4 交付団体の予算・決算 (単位:千円・%)											
収	区分	H17	H18	H19	H20予算	支	区分	H17	H18	H19	H20予算
	市補助金等(A)										
入	計(B)	0	0	0	0	出	計	0	0	0	0
	(A/B)										

5 事業活動の結果 (単位:千円・%)					
活動指標名		H17	H18	H19	H20
講座開設数(コマ)	目標値	100	100	100	100
	実績値	96	103	118	
	達成率	96.0	103.0	118.0	
講座応募者数(人)	目標値	1,149	1,030	1,246	1,200
	実績値	1,070	1,181	1,391	
	達成率	93.1	114.7	111.6	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

6 事業の成果		(単位:千円・%)			
成果指標名		H17	H18	H19	H20
講座参加者延べ人数(人) (目標値は講座定員数)	目標値	2,945	2,845	3,146	3,000
	実績値	2,301	2,562	2,856	
	達成率	78.1	90.1	90.8	
	目標値				
	実績値				
	達成率				
	目標値				
	実績値				
	達成率				

7 事業の観点別評価		担当課長が評価します。	
(1) 必要性		(4) 有効性	
ア 市民ニーズ	1 大きい 2 普通 3 小さい	1 密接な関連がある 2 関連がある 3 関連はほとんどない	1
社会経済情勢の変化に対する市民ニーズはどうか		事業の成果と施策の成果とに関連があるか	
イ 市の関与	1 行政にしかできない 2 民間等でもできる 3 民間等でやるべき	イ 成果	2
その事業に市が関与する必要があるかどうか		事業の成果は目標を達成しているか	
(2) 効率性		ウ 事業内容	1
ア コスト削減	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	目指す成果の実現を図る上で、今の事業内容は適当か	
コスト削減は可能か		(1)~(4)の評価ポイント合計	
(3) 公平性		総合評価の参考にしてください。	11
ア 受益者負担	1 不可能である 2 難しい 3 可能である	7~11 A or B	
さらなる受益者負担は可能か		12~15 B or C	
		16~21 D or E	

8 課長評価		担当課長が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		「生涯学習講座企画ボランティア」や「市民企画講座」などの市民と協働が進んでいることにより、役割分担をしながら行政として必要な分野を推進できている。講座参加者の延べ人数が目標値を下回っているのは、出席予定者の当日のキャンセルがあるため、申込時点で平均すると目標は達成している状況にある。	
A	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		市民との協働をさらに進化させ、市民との役割分担を明確化し、より政策的な事業に特化していくことが必要。	
(3) 平成21年度の方向性			
*:担当課長	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持	*	
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		「生涯学習講座企画ボランティア」が、20年6月に発足した市民組織「いしかり学びをつくる会」に再編されたことを契機として、さらに市民協働を進化させるとともに、公民館の直営事業としては、市民が取り組みづらい、より政策的な事業内容にできるだけ特化していく。	

↓ ここまで担当課長が記載した上で、パブリックコメントを実施し、市民意見を募集します。

9 課長評価に対する市民意見	

10 部長(市長)評価		課長評価に対する市民意見を踏まえて、部長職(もしくは市長)が評価します。	
(1) 平成19年度事業の総合評価		市民との協働が図られてきており、事業として良好に進められているが、公民館事業と他部門との調整も必要である。	
B	評点の意味 (A:極めて良好、B:良好、C:可も不可もない、D:問題がある、E:大きな問題がある)		
(2) 今後の方向性・課題		市民ニーズを適確に把握し、市民協働をさらに進化させ、市民との役割分担を明確にする必要がある。	
(3) 平成21年度の方向性			
:担当部長(もしくは市長)	事業内容		
	現状維持 一部見直し 大幅見直し		
事業規模	拡大方向		
	現状維持		
	縮小方向		
	統合		
	休・廃止		
		公民館の直営事業については、市民が取り組みづらい、より政策的な事業内容にできるだけ特化していくなど事業の見直しを検討する。	